

道徳科（人権）学習指導案

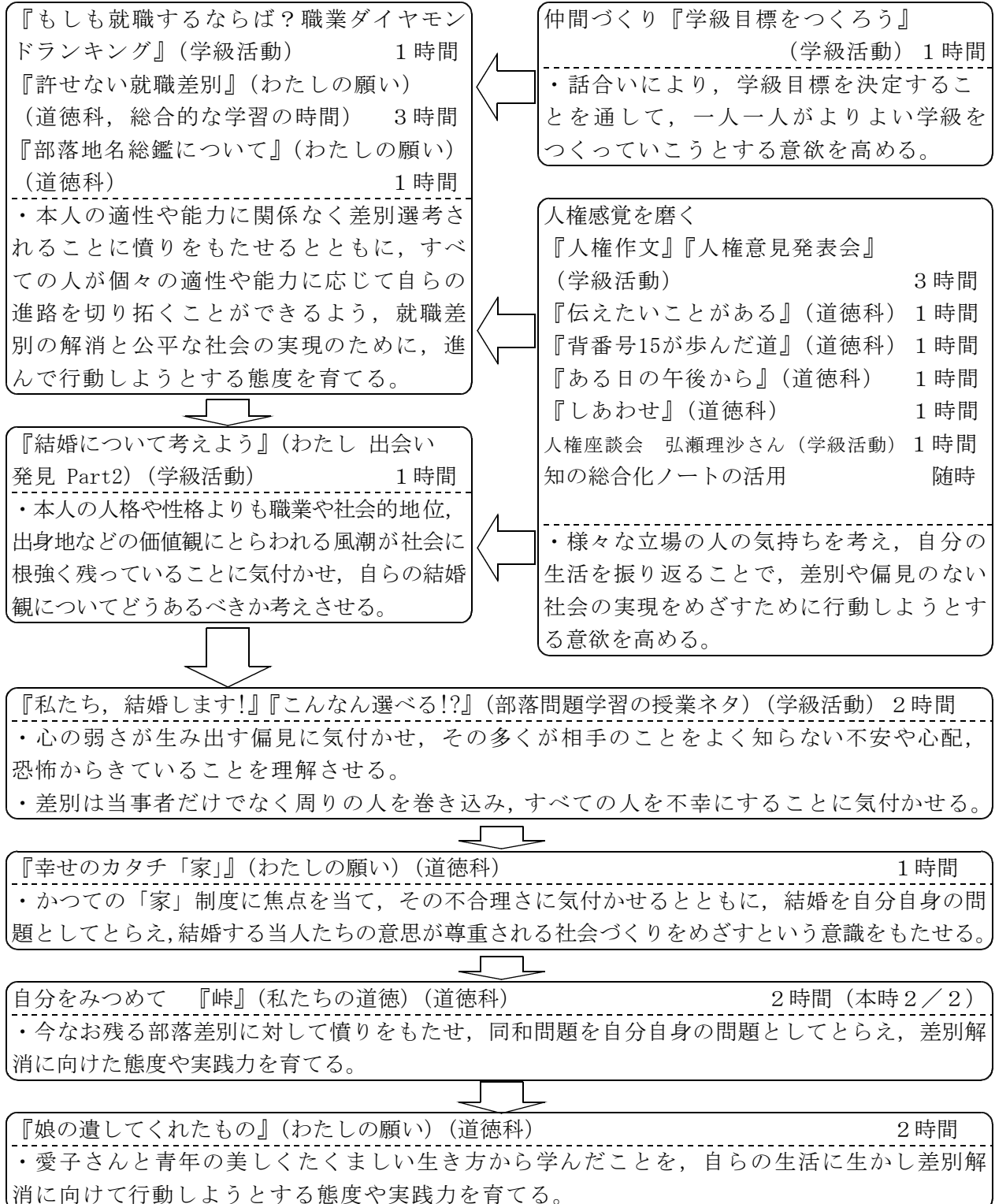
1 主 題 自分をみつめて

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

今なお残る部落差別に憤りをもたせるとともに、同和問題を自分自身の問題としてとらえさせ、差別解消に向けた意欲と実践力を育てる。

4 指導計画



5 本時の学習

(1) 目標

結婚差別を乗り越えた二人と両親の生き方から、差別や偏見のない社会の実現のために、自分がどのように生きていくべきかを考え、実践しようとする態度を育てる。

ねらいとする道徳的価値	C - (11) 公正, 公平, 社会正義
-------------	-----------------------

- (2) 普遍的な学習のテーマ 人権と差別
 個人人権課題名 同和問題

(3) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 前時の学習について振り返る。	○資料の内容や、登場人物の言動について、確認させ、本時の学習の方向付けをする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">何が両親の差別意識を変えさせたのか考えよう。</div>	
2 両親を変えていったものは何だったのか班で話し合う。	○個別に考えさせた後、班で話し合い、全体で意見交換させる。ホワイトボードを使い、積極的に意見交換ができるように支援していく。 ① ○両親の本心や本当の願いは何だったのか、について注目させる。 ②
3 班で話し合ったことを発表する。	○他の班の意見を聞いて、気付いたことや考えたことを発表させる。 ② ○差別意識を克服することが、幸せな生き方につながったことに気付かせる。 ①
4 自分のこれからの生き方について考え、発表する。	○自分自身の生活を振り返り、差別解消のために何ができるのかを具体的に考えさせる。 ①②

(4) 評価

- ・同和問題を自分自身の問題としてとらえ、差別解消に向けて、どのように行動していくべきかを考え、実践しようとする意欲を高めることができたか。 【価値的・態度的側面】①
- ・友達の見解を受け止め、自分の考えを発表することができたか。 【技能的側面】②